

かたばみ

(酒井 忠明 書)

Vol. 91

2023 冬号

発行 社会福祉法人
かたばみ会

発行責任者 事務局長 佐藤 弥生
発行日 令和5年 1月 10日



想いをつむぐ人たちと共に...

事業所トピックス

特別養護老人ホーム・ショートステイサービス



クリスマスツリーの飾り付け。クリスマスが終わると、あっという間にお正月です。慌ただしくも穏やかな年末年始を迎えられました。



デイサービスセンター



地域の方々からいただいた柿で、干し柿作りを行いました。寒い冬に栄養満点の保存食を皆さんで美味しくいただきました。



多機能施設 ～紅葉ドライブ～



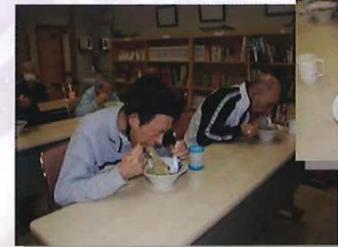
昨年11月某日、木々の葉が赤く色づきはじめてきた頃、眺海の森や舞鶴公園に紅葉見物のドライブに出掛けました。

移り行く季節を肌で感じ、お茶とおやつでホッとしたひと時を過ごしました。



養護老人ホーム ～出張ラーメン～

昨年12月2日、好評につき第2弾!「花鳥風月」様の出張ラーメンに大満足!



後記 編集

2023年、今年は十二支の中の卯年にあたります。卯(うさぎ)は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。昨年、新型コロナウイルスの感染拡大が私達の生活に大きな影響を与え、当法人でもクラスターを経験しました。また、今年前回卯年、2011年に起きた東日本大震災から、ちょうど12年目にもあたります。災いはいつ起こるか分かりません。日頃からの備えも必要ですが、経験して培っていくこともあり、更なる成長へと結びつくものです。本年も、かたばみ会としての成長が、地域の皆様の穏やかで安心した暮らしの実現につながることを願うばかりです。

謹賀新年

皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます
令和5年元旦

12月に発表された昨年の「今年の漢字」は「戦」でした。我々も戦(たたか)いに明け暮れた一年だったように思います。敵はウイルスという見えない微小物質なので厄介でした。ウイルスは生命体の定義を満たしていない、簡単な構造の自己増殖可能な物質とされているようですが、新型コロナウイルス感染症は何度も波状攻撃をかけてくるところなどは知能集団のように思えます。いうまでもなく私どもの役割は、介護を必要とする高齢者の方々のお世話であり、お一人お一人の自立を促し、尊厳の維持に意を配ることです。が、それよりも先ず命を守らなければなりません。ひとところに比べウイルスの毒性は弱くなってきたといわれていますが、高齢者の方々は、健康な若い人にならば免疫力が低いとされることから、まったく油断ができません。ご家族の皆様との面会を制限したり、デイサービスを休止するなどの已む無きに至る時期があったことに対しこの紙面を借りて改めてお詫び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを引き下げようとの動きもあるやに聞きますが、季節性インフルエンザやノロウイルス感染症など、従来からあったウイルス感染症も含め、高齢者にとってはどれも深刻な問題を引き起こします。開けた新年、何とか感染症に対する緊張感が和らぐ年になってくれることを切に願う次第です。

利用者とそのご家族、そして地域の皆様から、より一層安心と信頼を得られる施設を目指して役員、職員ともども精進を重ねてまいります。皆様のご支援、ご協力をお願いし、年頭のご挨拶いたします。



社会福祉法人かたばみ会
理事長 佐藤 淳司

新年のご挨拶

かたばみ荘

〒998-0015
山形県酒田市北千日堂前字松境18番1
【TEL】0234(35)1451
【FAX】0234(35)1452
支援センター直通
【TEL】0234(35)1407

- ・特別養護老人ホーム
- ・ショートステイサービス
- ・デイサービスセンター
- ・在宅介護支援センター

〒998-0061 山形県酒田市光ヶ丘2丁目3-19
【TEL】0234(35)1453
【FAX】0234(35)1454

かたばみの家

〒998-0015
山形県酒田市北千日堂前字松境16番
【TEL】0234(35)1471
【FAX】0234(35)1472

かたばみ会 酒田市 検索



酒田市立松陵小学校福祉体験学習



毎年、ペットボトルキャップも寄贈しています。

昨年から実施している体験学習、令和4年11月28日、この日は4年生22名を対象に、車椅子の乗車体験、アプリを使用し高齢者の見え方、聞こえ方を学習しました。高齢者への理解を深め、自分でできることを考えてもらう・・・この学びが結果的に地域で高齢者を支える一助になることを願っています。

松陵いこいの場「ふくしの講座」



令和4年11月30日、まだまだ新型コロナウイルスが心配されるこの日のふくしの講座は、寒くなり体を動かす機会が少なくなるこの時期にぴったりのアクティビティ、以前講評をいただいた「モルック」を行いました。また今回は、参加者の皆様に予め、手に蛍光塗料を塗ってもらい、運動後、用具や体をブラックライトで照らし、汚れの広がり具合、「接触感染」を実体験するという、ハイブリットな講座となりました。参加者からも多数の驚きの声をいただき、改めて、手洗いや消毒の重要性を学んでいただけたかと思えます。

想いをつむぐ人たちと共に・・・

昨年も様々な方々に支えられ、地域の皆様と共に歩んで来たかたばみ会・・・今年も穏やかな暮らしを願う気持ちを沢山の皆さんと「つむぐ」ことが、私たちの想いです。

ご寄贈の数々



昨年も沢山の皆様からご寄贈がありました。毎年秋には、「庄内柿を守る会」様をはじめ、複数の皆様から柿を、また11月14日には、山形パナソニック株式会社様より、車椅子をご寄贈いただきました。数々の善意の気持ちを大切に紡いでいきたいと思えます。

松陵学区文化展・荘内銀行作品展示



施設に入所や利用している方々が一年間かけて作成した手工芸品などを展示する機会を、毎年地域の方々より提供していただいています。10月22・23日は松陵学区コミュニティーセンター様の文化展、11月の一カ月間は、荘内銀行酒田北支店様へ展示させていただきました。これからも様々な形で、地域の皆様と関わることが出来たら幸いです。